

1年間の締めくくりの月となりました。春の祝い・卒業式も控えています。
冬将軍が舞いもどり、「春寒しだいに緩み」の春の歩みが戻る時期でもあります。体調管理を
時節に合わせて上手に管理していきましょう。

3月の給食目標は、「1年間の反省をしましょう」



「おおきくなるっていいことは・・・」

中川ひろたか文 村上康成絵

おおきくなるっていいことは、洋服がちいさくなるっていいこと
おおきくなるっていいことは、「あたらしい歯」がはえてくるってこと
おおきくなるっていいことは、水に顔をながくつけられるってこと
おおきくなるっていいことは、小さな人にやさしくなれるっていいこと～〈中略〉～
おおきくなるっていいことは、そういうこと
またひとつ、おおきくなったね。おめでとう みんな！



給食流「おおきくなるっていいことは・・・」

きれいなものでも、ちょっとがんばって食べられるっていいこと
なんでも、残さず食べられるっていいこと
作ってくれた人に感謝して、たべられるっていいこと
かたづける時は、そのあとかたづけてくれる人のことを考えて
じょうずにかたづけられるってこと



4年生から上の人たちは・・・

「自分の体の健康と成長を考えて、バランスよく、何でも残さず、まんべんなく、給食を食べるってこと」

それぞれの学年で、できるようになることはちがいます。

けれど、「健康にすごす」ことは、毎日の学習・運動・遊びのやる気を支えています。健康になるには、栄養をしっかりとバランスよくとることが必要です。

1年間の給食でできるようになったことはどんなことがありますか。

健康を考えて、食べ方を工夫していますか。当番の人に協力して衛生的な準備や片づけができますか。マナーに気をつけて、好き嫌いせず、感謝の気持ちをもって食べていますか。

一年間の給食を振り返って、3月は「おいしく楽しく食べる給食時間」になるようにしましょう。ただし、インフルエンザやおなかの痛い風邪がまだ流行っています。食べる時は前向きで、黙食です。



ひな祭りのおはなし

毎年3月3日は、女の子の健やかな成長と幸せを願い、お祝いをする「ひな祭り」です。ひな人形や桃の花を飾り、さまざまな願いを込めた料理やお菓子をいただきます。季節の節目となる五節句（五節供）の一つ「上巳の節句」でもあり、季節の花にちなんで「桃の節句」とも呼ばれます。



ひな祭りの始まりは、平安時代までさかのぼります。古代中国から伝わった「上巳節」という厄払いの風習と、貴族の女の子たちの間で流行した人形遊びが結びつき、人形に災いを移して川に流す「流しびな」の風習が生まれました。その後、豪華なひな人形を飾るようになり、江戸時代には一般の人びとの間へも広がっていき、現代のようなひな祭りが行われるようになりました。

ご卒業おめでとうございます

友達や先生方と過ごした給食時間は、学校生活のかけがえのない思い出の一つとなっていることでしょう。給食が届くまでにはたくさんの人が関わっていて、皆さんを大切に思う気持ちが詰まっています。これから先、困難にぶつかることがあったら、ぜひ給食のことを思い出してください。皆さんが元気で活躍できるようにと、いつまでも応援しています。

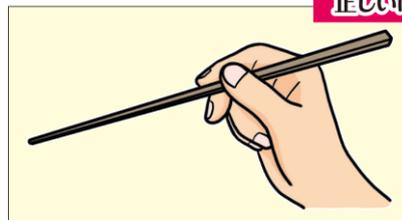


成長を祝う行事も目白押し…
これも成長です！

“あること”ができると素敵に変身!

～はしの持ち方、気にしていますか～

それは、「はしの持ち方」です。はしを正しく持って使えるようになると、料理がじょうずに食べられます。食べ方も美しくなります。



①上のはしは、えんぴつのように持つ。



②下のはしを親指から通し、薬指の横で支える。

さかな
魚がきれいに
た
食べられる!

ちゃ
お茶わんも
ピカピカ!

すてき
素敵な
おとな
大人になれそう!



はしを正しく持つと、細かい骨を除いたり、魚の身を上手に分けられ、食べ方がきれいになります。



はしを正しく持つと、茶碗についたご飯粒や小さな野菜もつまんで口に運べます。お茶わんもきれい、心もピカピカ!



はしを正しく持つと、食べ方が美しくなります。周りから「すてきな人だな」と、きっと思われます。今からすてきに変身しましょう。